



14日(日)～15日(月) 交流大会(七ヶ宿公園特設会場)

秋晴れの空と青く澄んだダム湖畔で行われた大会は、運動広場を「式典・プレーヤー控え・物産・救護など」、グラウンド・ゴルフ場を「プレー会場」として開催しました。

オープニングは「西山学院高校の和太鼓演奏」でプレーヤーを迎え、(写真①)「西山学院高校、柴田高校、村田高校、大河原商業高校の吹奏楽合同演奏」のリズム(写真②)で「関小、湯小・七中児童生徒のプラカード」に引き続きプレーヤーが入場しました。(写真③)



大会会長である梅津町長の挨拶(写真④)、来賓代表の方々から祝辞のあと、「最高齢者賞」「高齢者賞」の授与があり(写真⑤)、関地区在住の井上八郎さんが高齢者賞を受賞されました。(写真⑥)



宮城県代表と仙台市代表の方が選手宣誓を行い(写真⑦)、南三陸町の佐藤町長や日本グラウンド・ゴルフ協会の杉山会長、地元小学生を含む8名が始球式でホールインワンを狙いました。(写真⑧)その後はプレー開始の花火の合図で、430名の猛者が腕を競いました。(写真⑨)



白石高校七ヶ宿校の生徒やソニーセミコンダクタ株の皆さん、老人クラブ連合会をはじめとする各団体の方々には「おもてなし」「清掃」「弁当配付」などボランティアとして活動していただきました。(写真⑩)15日午後に行われた交歓大会では小中学生と各代表プレーヤーの混合チームで、グラウンド・ゴルフの楽しさを満喫していたようです。(写真⑪)



「男性の部」優勝は仙台市の山津田さん(3R合計47打(写真⑫))「女性の部」は島根県の磐脇さん(56打)でした。準備から運営まで多くの皆様にご協力を頂きました。本当に有り難うございました。来年の開催地は、高知県四万十市となります。

終了しました！

多くの皆様のご協力、ありがとうございました!!

ねんりんピック連載最終号となる今回は、10月14日(日)～15日(月)、七ヶ宿公園を舞台に行われた「ねんりんピック宮城・仙台2012グラウンド・ゴルフ交流大会」の様子をお伝えします。

13日(土) 総合開会式(仙台市陸上競技場)

梅津町長はじめ村上町議会議長、松村社会福祉協議会会長、錦グラウンド・ゴルフ協会副会長が来賓として出席し、七ヶ宿町からは7名が宮城県代表選手として行進しました。



▲後列左から 斎藤一正さん、柏良二さん、塩出昌彦さん、井上八郎さん
前列左から 山田良悦さん、新山秋美さん、高橋正司さん

代表者会議(活性化センター)

宮城県グラウンド・ゴルフ協会の鈴木会長から「今大会が明るく楽しく、長く良い思い出になるような大会にしてほしい。」という挨拶のあと、各都道府県・政令指定都市の代表者がプレー方法などについて理解を深めました。

